

7-4

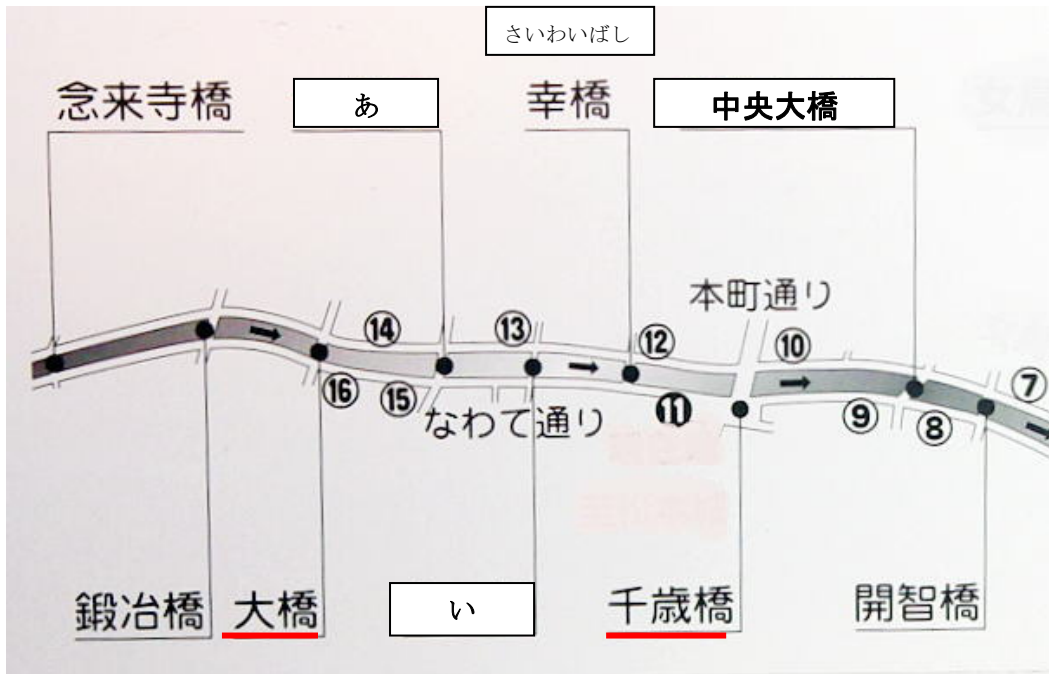
女鳥羽川・縄手・千歳橋の変遷

今回は、三の丸の南側についてその変遷についてお尋ねします。

- 1 女鳥羽川は、武田氏の土木技術をもって松本城の南側に流路を変更されたと最近の研究で明らかにされていますが、「女鳥羽川」という呼び名は水野家3代忠直時代以降の松本城下絵図で定着します。それ以前は庶民の間では何と呼ばれていたでしょう。

①めとうだ川 ②御堂川 ③音羽川^{おとわがわ} ④湯川

- 2 女鳥羽川にはいくつもの橋がかけています。千歳橋から大橋の間に3つの橋がありますがそのうち江戸時代からある2つの橋について現在の橋名を教えてください。



あ () い ()

①下大橋^{しも} ②一ッ橋 ③三の橋 ④深志橋 ⑤中の橋

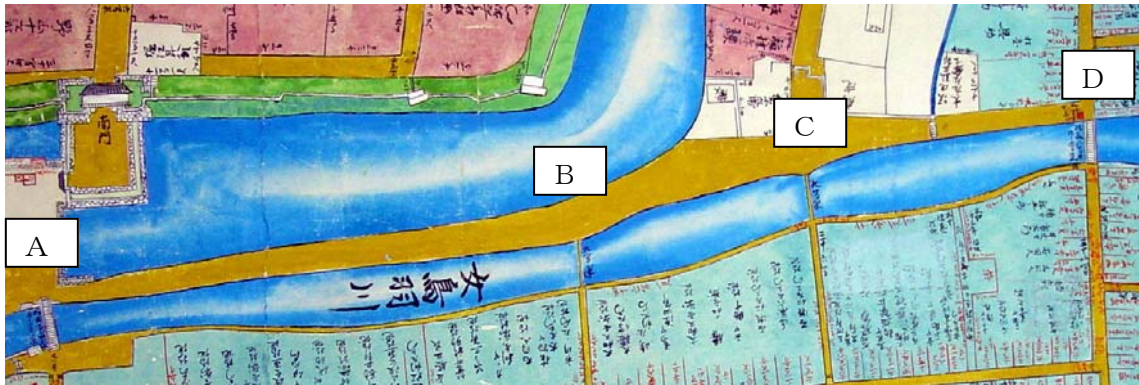
- 3 現在の千歳橋は明治11年(着工は明治9年)に石橋に架け替えられ橋の名称も千歳橋と名付けられました。木橋であった江戸時代にはこの橋を何と呼んでいたのでしょうか。

①女鳥羽橋 ②南御門橋 ③表御門橋 ④大手橋

- 4 大橋は江戸時代には幅2間2尺、長さ8間半の木橋でした。明治17年に県の直営工事で石橋にしましたが、明治29年取り壊し、木の橋に架け替えました。その理由は

①大洪水の濁流のため橋の中央が陥没し通行が危険になったため。
 ②大洪水で流木が引っかかりそこから水があふれたため今後のことを考え掛け替えた。
 ③明治29年7月の大洪水で大橋が流失してしまったため。

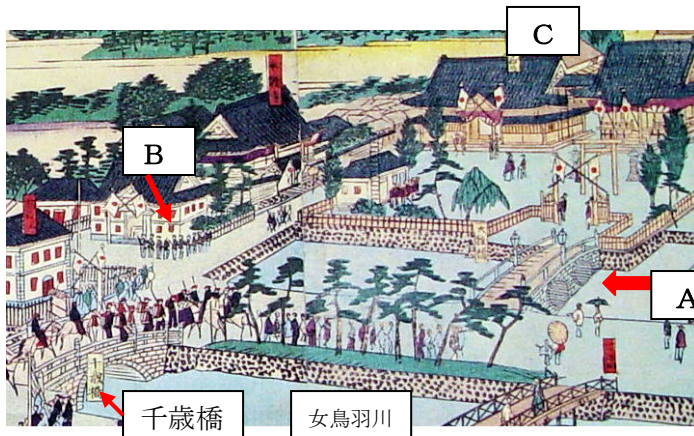
5 縄手は直線の土手道部分をいいます。どこからどこまでを縄手というのでしょうか。



(天保六年松本南北深志絵図写 松本城管理事務所蔵)

- ① A (現千歳橋) ——— B (江戸時代の橋の名は新小路橋) まで
- ② A ——— C (上土の入り口) まで
- ③ A ——— D (大橋) まで

6 明治13年明治天皇巡幸の際写真の御幸橋 (矢印A) が造られ明治天皇が渡り初めました。この橋の石材はどこから来たものでしょう。



- ① 山辺の石切場から切り出した
- ② 大手門の門台の石を再利用した。
- ③ 太鼓門の北の門台の石を再利用した
- ④ 黒門東門台を崩して再利用した。

7 問6の写真は「明治十三年御巡幸松本御通図」ですが「B」「C」の建物は何でしょう。

B () C ()

- ① 松本電信局
- ② 松本警察署
- ③ 松本税務署
- ④ 四柱神社
- ⑤ 五社

8 写真は千歳橋の大名町側の東隅にある大正8年(1922)に設置された石柱です。大変重要な意味を持つ標柱ですが何でしょう。

- ① 松本市の三角点
- ② 松本市道路元標
- ③ 松本城南大手門があったこと示す記念碑

